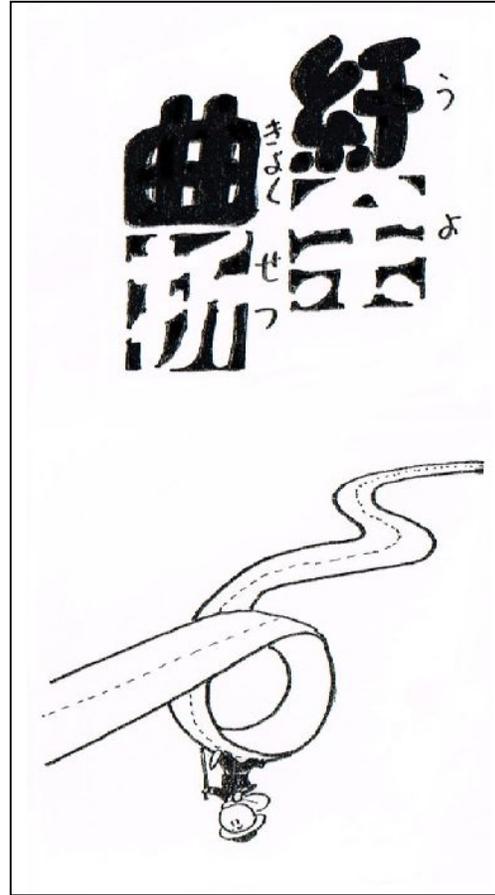


先週の回答



「パパとママはすんなりと結婚にゴールインしたの？」
 「いろいろとあったよ、紆余曲折が」
 「どんな、うよきよくせつだったの？」
 「当てるごらん」
 「ママが好きになった相手の男性はものすごくハンサムで頭脳(あたま)がきれいな人だったけど、身体が弱くて結婚式前日に結核でこの世を去ってしまった。気落ちしたママは、もう誰でもいいやとパパと一緒にになった」
 「ちがう」
 「好きになった相手の家がすごくお金持ちで、『つり合わぬは縁のもと』と泣く泣く自分から身を引いたが、自棄(やけ)になつてパパと一緒にになった」

「ちがう」
 「親の反対を押し切って駆け落ちはしたものの、路金も底をつき心中を決意したが、ママだけ木の枝にひっかかって生きのびてしまい、生きる希望をなくしてパパと一緒にになった」
 「ちがう」
 「ママがエレベーターに閉じ籠められてしまったとき。命がけで助け出してくれたのがパパだったから、その恩返しに死んだつもりで結婚した」
 「さつきから聞いていると、誰でもいいだとか、自棄になつてとか、生きる希望をなくしてとか、死んだつもりでとか、どうしてそうひん曲がった考えしかなないんだ」



「だって、紆余も曲折も、どつちも曲がりくねつたって意味でしょう」

